

令和5年5月4日

統計トピックスNo. 137

## 我が国のこどもの数

—「こどもの日」にちなんで—

（「人口推計」から）

総務省統計局では、5月5日の「こどもの日」にちなんで、2023年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口）を推計しました。

### ポイント

#### 《全国》

I-1 こどもの数は1435万人、42年連続の減少

I-2 こどもの割合は11.5%、49年連続の低下

#### 《都道府県》

II-1 こどもの数は47都道府県で減少

II-2 こどもの割合は沖縄県が最も高く、秋田県が最も低い

「人口推計」では、国勢調査による人口を基礎に、その後の人口の動向を他の人口関連資料から得て、毎月1日現在の人口及びより詳細な毎年10月1日現在の人口を算出しています。

この資料の人口は、2023年4月1日現在について推計した人口（概算値）です。都道府県別人口については、2022年10月1日現在の人口（確定値）です。

## 《全国》

### I-1 こどもの数は1435万人、42年連続の減少

2023年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口。以下同じ。）は、前年に比べ30万人少ない1435万人で、1982年から42年連続の減少となり、過去最少となりました。

男女別では、男子が735万人、女子が700万人となっており、男子が女子より35万人多く、女子100人に対する男子の数（人口性比）は105.0となっています。

（表1）

こどもの数を年齢3歳階級別にみると、12～14歳が321万人（総人口に占める割合2.6%）、9～11歳が308万人（同2.5%）、6～8歳が296万人（同2.4%）、3～5歳が267万人（同2.1%）、0～2歳が243万人（同2.0%）となっています。（表2、図1）

これを中学生の年代（12～14歳）、小学生の年代（6～11歳）、未就学の乳幼児（0～5歳）の三つの区分で見ると、それぞれ321万人（同割合2.6%）、604万人（同4.9%）、510万人（同4.1%）となっています。（表2）

表1 男女別こどもの数

		2023年 4月1日現在	2022年 4月1日現在	対前年 増減数
こどもの 数 (万人)	男女計	1435	1465	-30
	男	735	750	-15
	女	700	714	-15
	人口性比	105.0	105.0	0.0
総人口 (万人)	男女計	12447	12507	-60
	男	6051	6080	-28
	女	6395	6428	-32
	人口性比	94.6	94.6	0.0
総人口に占める こどもの割合(%)		11.5	11.7	-0.2

注) 表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります（以下同じ。）。

図1 年齢3歳階級別こどもの数  
(2023年4月1日現在)

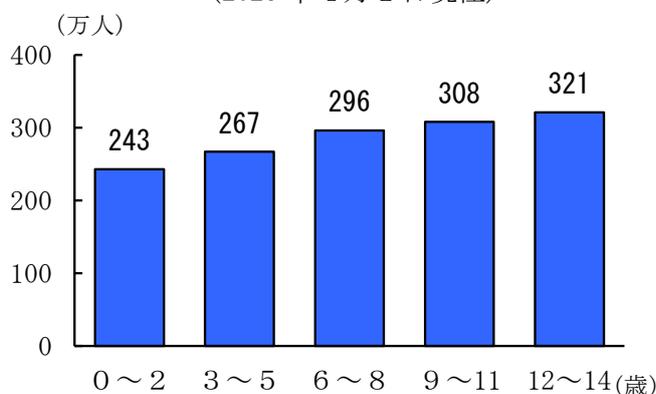


表2 男女、年齢3歳階級別こどもの数 (2023年4月1日現在)

		こどもの 数	未就学の乳幼児(0～5歳)		小学生(6～11歳)		中学生 (12～14歳)		
			0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳			
人口 (万人)	男女計	1435	510	243	267	604	308	321	
	男	735	261	125	137	309	152	158	164
	女	700	249	119	130	295	144	151	156
総人口に占める 割合(%)		11.5	4.1	2.0	2.1	4.9	2.4	2.5	2.6

## I-2 こどもの割合は11.5%、49年連続の低下

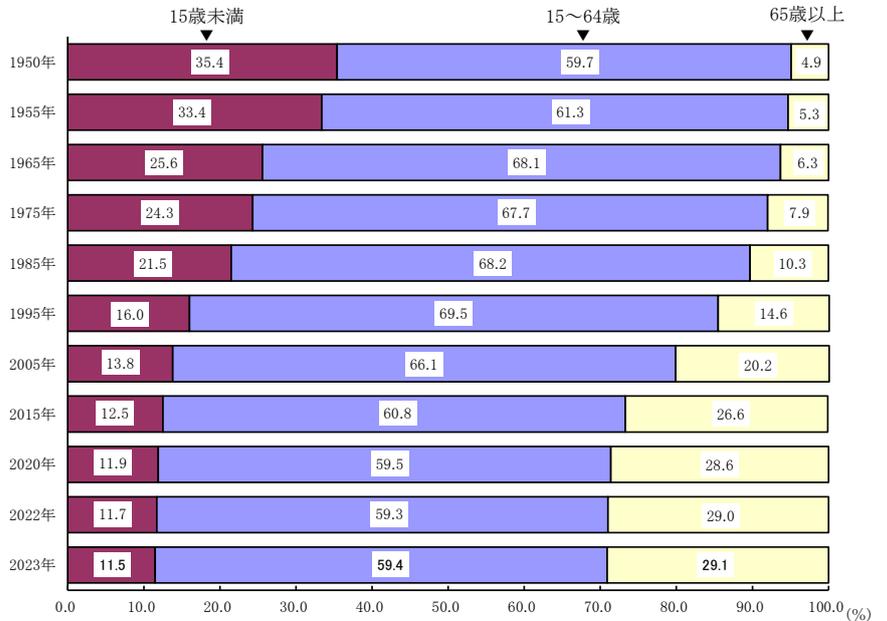
こどもの割合（総人口に占めるこどもの割合。以下同じ。）は、1950年には総人口の3分の1を超えていましたが、第1次ベビーブーム期（1947年～1949年）の後、出生児数の減少を反映して低下を続け、1965年には総人口の約4分の1となりました。

その後、1970年まで低下が続いたこどもの割合は、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）の出生児数の増加によって僅かに上昇したものの、1975年から再び低下を続け、1997年には65歳以上人口の割合（15.7%）を下回って15.3%となり、2023年は11.5%（前年比0.2ポイント低下）で過去最低となりました。

なお、こどもの割合は、1975年から49年連続して低下しています。

（図2、図3、参考表1）

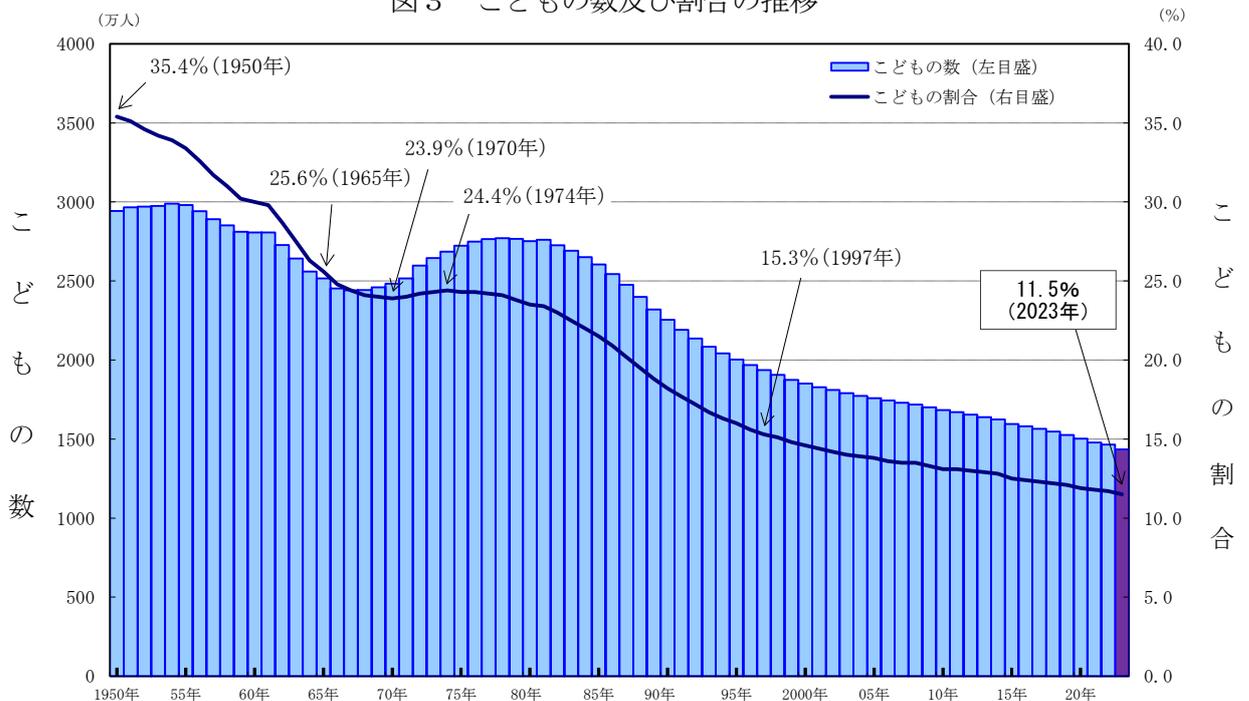
図2 年齢3区分別人口の割合の推移



資料：「国勢調査」及び「人口推計」

注）2022年及び2023年は4月1日現在、その他は10月1日現在

図3 こどもの数及び割合の推移



資料：「国勢調査」及び「人口推計」

注）2022年及び2023年は4月1日現在、その他は10月1日現在

## 《都道府県》

### Ⅱ-1 こどもの数は47都道府県で減少

都道府県別の2022年10月1日現在におけるこどもの数をみると、前年に比べ47都道府県でいずれも減少となっています。また、こどもの数が100万人を超えるのは、東京都、神奈川県、大阪府の3都府県となっています。(表3)

### Ⅱ-2 こどもの割合は沖縄県が最も高く、秋田県が最も低い

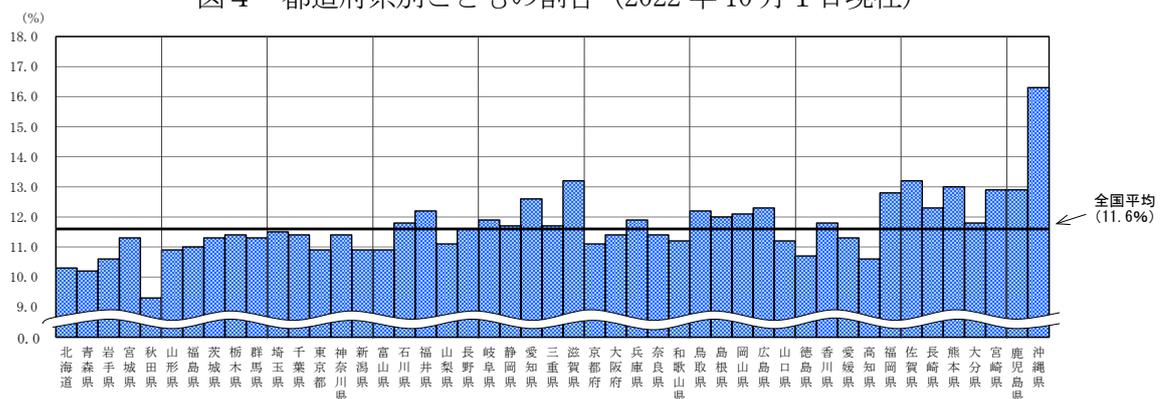
こどもの割合をみると、沖縄県が16.3%と最も高く、次いで滋賀県及び佐賀県が13.2%などとなっています。一方、秋田県が9.3%と最も低く、次いで青森県が10.2%、北海道が10.3%などとなっています。(表3、図4)

表3 都道府県別こどもの数及び割合 (2022年10月1日現在)

割合 順位	都道府県	こどもの数 (千人)	こどもの 割合 (%)	対前年差		割合 順位	都道府県	こどもの数 (千人)	こどもの 割合 (%)	対前年差	
				数 (千人)	割合 (ポイント)					数 (千人)	割合 (ポイント)
—	全 国	14,503	11.6	-282	-0.2						
45	北海道	530	10.3	-14	-0.2	2	滋 賀 県	186	13.2	-3	-0.2
46	青 森 県	123	10.2	-4	-0.2	35	京 都 府	282	11.1	-6	-0.2
43	岩 手 県	125	10.6	-4	-0.2	24	大 阪 府	1,002	11.4	-16	-0.2
29	宮 城 県	258	11.3	-6	-0.2	15	兵 庫 県	644	11.9	-12	-0.2
47	秋 田 県	86	9.3	-3	-0.2	24	奈 良 県	148	11.4	-3	-0.1
38	山 形 県	113	10.9	-3	-0.2	33	和 歌 山 県	101	11.2	-2	-0.1
37	福 島 県	197	11.0	-5	-0.2	11	鳥 取 県	66	12.2	-1	-0.1
29	茨 城 県	321	11.3	-7	-0.2	14	島 根 県	79	12.0	-2	-0.1
24	栃 木 県	217	11.4	-6	-0.2	13	岡 山 県	225	12.1	-5	-0.1
29	群 馬 県	216	11.3	-6	-0.2	9	広 島 県	340	12.3	-8	-0.2
23	埼 玉 県	847	11.5	-14	-0.2	33	山 口 県	147	11.2	-3	-0.1
24	千 葉 県	717	11.4	-10	-0.2	42	徳 島 県	75	10.7	-2	-0.1
38	東 京 都	1,535	10.9	-18	-0.2	17	香 川 県	110	11.8	-3	-0.2
24	神 奈 川 県	1,053	11.4	-18	-0.2	29	愛 媛 県	147	11.3	-4	-0.1
38	新 潟 県	235	10.9	-7	-0.2	43	高 知 県	72	10.6	-2	-0.2
38	富 山 県	111	10.9	-3	-0.2	7	福 岡 県	654	12.8	-7	-0.1
17	石 川 県	132	11.8	-3	-0.2	2	佐 賀 県	105	13.2	-2	-0.1
11	福 井 県	92	12.2	-2	-0.1	9	長 崎 県	158	12.3	-3	-0.1
35	山 梨 県	89	11.1	-2	-0.2	4	熊 本 県	223	13.0	-3	-0.1
22	長 野 県	235	11.6	-5	-0.2	17	大 分 県	131	11.8	-3	-0.2
15	岐 阜 県	231	11.9	-6	-0.2	5	宮 崎 県	136	12.9	-3	-0.1
20	静 岡 県	417	11.7	-12	-0.2	5	鹿 児 島 県	201	12.9	-4	-0.1
8	愛 知 県	948	12.6	-18	-0.2	1	沖 縄 県	240	16.3	-2	-0.2
20	三 重 県	204	11.7	-5	-0.2						

注) 割合 : 都道府県別人口に占めるこどもの割合。図4も同じ。  
対前年差 : 2022年のこどもの数(割合) - 2021年のこどもの数(割合)

図4 都道府県別こどもの割合 (2022年10月1日現在)



<参考>

参考表1 年齢3区分別人口及び割合の推移

年次	総人口 (万人)	15歳未満 (こどもの数・割合)		15～64歳		65歳以上	
		人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)
1950年	8320	2943	35.4	4966	59.7	411	4.9
1955年	8928	2980	33.4	5473	61.3	475	5.3
1960年	9342	2807	30.0	6000	64.2	535	5.7
1965年	9827	2517	25.6	6693	68.1	618	6.3
1970年	10372	2482	23.9	7157	69.0	733	7.1
1975年	11194	2723	24.3	7584	67.7	887	7.9
1980年	11706	2752	23.5	7888	67.4	1065	9.1
1985年	12105	2604	21.5	8254	68.2	1247	10.3
1990年	12361	2254	18.2	8614	69.7	1493	12.1
1995年	12557	2003	16.0	8726	69.5	1828	14.6
2000年	12693	1851	14.6	8638	68.1	2204	17.4
2005年	12777	1759	13.8	8442	66.1	2576	20.2
2010年	12806	1684	13.1	8173	63.8	2948	23.0
2015年	12709	1595	12.5	7728	60.8	3387	26.6
2020年	12615	1503	11.9	7509	59.5	3603	28.6
2022年	12507	1465	11.7	7418	59.3	3624	29.0
2023年	12447	1435	11.5	7393	59.4	3619	29.1

資料：「国勢調査」及び「人口推計」

注) 2022年及び2023年は4月1日現在、その他は10月1日現在

参考表2 各国におけるこどもの割合

国名	こどもの割合(%)	国名	こどもの割合(%)	国名	こどもの割合(%)
日本	11.5	コロンビア	21.3	アルジェリア	30.6
韓国	11.6	ベトナム	22.4	エジプト	32.9
イタリア	12.4	アルゼンチン	23.1	パキスタン	36.6
スペイン	13.8	トルコ	23.2	イラク	37.7
ドイツ	14.0	イラン	23.6	ケニア	37.8
タイ	15.5	メキシコ	24.5	エチオピア	39.6
中国	17.2	ミャンマー	24.6	スーダン	40.9
フランス	17.2	インドネシア	25.2	ナイジェリア	43.0
イギリス	17.5	インド	25.3	アフガニスタン	43.1
ロシア	17.7	バングラデシュ	26.0	タンザニア	43.4
アメリカ合衆国	18.0	南アフリカ	28.6	ウガンダ	44.8
ブラジル	20.3	フィリピン	30.3	コンゴ民主共和国	46.5

資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2022 Revision" による2022年の年央推計値（うち人口が4000万人以上の国）  
日本は人口推計（2023年4月1日現在）

## 利用と問合せについて

---

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。  
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。  
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1370.html>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。  
(例) 「人口推計」(総務省統計局)

### 【問合せ先】



総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係  
〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号  
TEL : 03 (5273) 1009  
Eメール : c-suikei@soumu.go.jp